

第 1 学 年 英 語 科 学 習 指 導 案

日 時 平成20年10月6日(火) 5校時

学 級 1年B組(男子14名 女子19名 計33名)

授業者 教諭 伊 藤 マ ヤ

1 単元名

Unit 6 「グリーン家の人々」 (New Horizon English Course Book 1)

2 単元について

(1) 教材観

○題材：グリーン先生の家族紹介(姉のリサ、リサの夫で日本人の浩司、浩司の友人の中国人が登場する) 文化的背景として日本語教師、歌舞伎、漢字とかな文字、チャイナタウンなどを話題の中に取り入れながら授業を進める。

○言語材料

「文法」…一般動詞の変化(三人称単数現在形のSの登場)とその疑問文、否定文それに伴う一般動詞の変化形(lives/likes/wants/plays/teaches/uses/reads/writes/studies/has)

「語彙」…家族を表す単語(family /sister/ brother/ husband)

文化的背景に関わる語彙(Japan/Chinese/culture)

その他の語彙(her /his /in/does/well/ they/ both)

○この単元を学習するに際して、もっとも気をつけたこと

①新しいsの登場を印象的に導入すること、その際、複数形のsを常に比較対照させることで差違をはっきりさせること。

②人称の知識を与え、理論的に裏付けて教える。簡単に、明確に、楽しんで、しかも納得するまで。(理論はしっかり、本文内容はさらりと導入)

(2) 指導観

①音読重視で指導している。毎回同じパターンの活動を「全員で」「声に出して」「できるだけ生徒の指示で行えるようにしつける。(およそ2ヶ月で定着。生徒リーダーは通年が原則)

②1年の1学期が人生を分ける・・・読めない、書けない、しかし言える時期は音読天国「言える」ことを褒めちぎる。「読めない」「書けない」ことを責めない。一緒に読む。書けるようになるまで小テストは出る内容をすべて事前に伝え、努力が100%保証されるようにする。家でやってこなくてもその場で練習させてすぐテスト。

③印象づけるために専用の語(英語の先生の勝手な造語も含む)を多用している。

(なぞのS、いっぱいどうし、てきどうし、be動詞歌、ひらがななど)

④個を生かしペアを多用

ア 「全員がやればできる活動」で苦手意識を持つ生徒の意欲付けをおこなう。

イ 知的理解を補う方法として暗唱による音声訓練の日常化をはかる。

ウ 生徒の理解や作業速度の差を想定したプリント作成を心がける。

エ 学習したことを必ずテストに出して、生徒の努力を保証する。

オ 提出物は加点方式で励ましを重視する。

⑤評価について

ア 常に生徒のシートやワークを点検し、形成的評価を行う。

イ 観点を明記し、自己評価、相互評価が行えるようにする。

3 単元の目標

- (1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度
- ① グリーン先生の家族について興味を持って学習する。
 - ② 三人称単数現在形を用いた言語活動に積極的に取り組もうとする。
- (2) 理解の能力
- ① 三人称単数現在形を用いた文を含む英文を正しく聞き取ることができる。
 - ② 三人称単数現在形を用いた分を含む英文の情報を正しく読み取ることができる。
 - ③ Do と Does / don't と doesn't の違いを知って使い分けることができる。
- (3) 表現の能力
- ① 家族や友達のことについて三人称単数現在形を用いて正しく話したり書いたりできる。
 - ② 家族や友達のことについて、Does を用いてたずねることができる。
 - ③ 家族や友達のことについて、doesn't を用いて簡単な否定文を言うことができる。
- (4) 言語や文化についての知識・理解
- ① 三人称単数現在形の表現について理解し、正しく使うことができる。
 - ② 話題になっている内容（歌舞伎、チャイナタウン、日本人町など）の理解を深める。

4 単元の指導計画と評価規準

単元の指導計画			評価規準			
ページ	時数	指導内容	コミュニケーション	理解	表現	言語文化
Part 1	2	・一般動詞の三人称単数現在形の理解と表現活動 ・本文の内容理解と暗唱	・間違えることを恐れず、積極的に言語活動に参加する。 ・本文の内容に興味・関心を持ち、内容を理解しようと聞いたり、読んだりする。	・三単現の肯定文を含んだ英文を正しく理解できる。	・友達や家族のことについて三単現を用いて表現できる。	・三単現の肯定文を正しく理解し、使うことができる。
Part 2	1.5	・Does～？とその答えの理解と運用練習 ・本文の内容理解と暗唱		・三単現の疑問文を含んだ英文を正しく理解できる。	・友達や家族のことについて尋ねたり、答えたりすることができる。	・三単現の疑問文を正しく理解し、使うことができる。
Part 3 (本時) 1/1.5	1.5	・doesn't の理解と運用練習 ・本文の内容理解と暗唱		・三単現の否定文を含んだ英文を正しく理解できる。	・友達や家族のことについて三単現の否定文を用いて表現できる。	・三単現の否定文を正しく理解し、使うことができる。
まとめと練習	1	文法的なまとめ				三単現の表現を正しく理解する。

5 本時の指導

(1) 本時の目標

- ① 三人称単数現在形の否定文を正しく理解し、使うことができる。(言語や文化についての知識・理解)
- ② 基本文や教科書の本文の内容を理解し、正しく音読できる。(表現)

(2) 評価の観点及び具体の評価規準

評価の観点	具体の評価規準		努力を要する生徒への手立て
	A：十分満足できる	B：概ね満足できる	
表現の能力	・スピードを意識して、十分な音量で音読している。 ・相手との情報交換を英語で積極的に行おうとしている。	・音読に真剣に取り組んでいる ・相手とコミュニケーションをとる努力をしている。	・机間巡視による励まし ・絵による場面設定 ・ペアワークによる意欲の喚起
言語や文化についての知識理解	・三単現のSの構造を理解して英文（否定文）を正しく言ったり書いたりできる。	・パターンに従って三単現のSを用いた文（否定文）を言ったり書いたりできる。	・パターン練習の多用 ・音読によるドリル練習 ・ペア活動による教え合い（ワークの添削） ・机間巡視による支援

(3) 本時の展開

段階	指導内容	生徒の学習活動	留意事項・評価◎・手立て●												
導入 10	あいさつ 1 Warm up と帯活動	<ul style="list-style-type: none"> 音読カード読み上げ ペアワークによる単語音読ドリル 書き取り練習 <ul style="list-style-type: none"> ① 間違い直しで does の復習 ② 単語、曜日 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生徒リーダーの活動 ◎ 十分な声量で音読できるか <ul style="list-style-type: none"> 三単現の S を意識する does の仕事を確認する does の口慣らしをする 												
展開 35	2 本文の導入	<ul style="list-style-type: none"> Oral Introduction 既習事項から本文内容へ 内容確認① (補助発問) 「何て言っていますか?」 「言葉のことを言っていますね」 「Chinese, Japanese, English と聞こえた人」 「英語はどうなんだろう」 	<ul style="list-style-type: none"> ● 内容理解の手立て <ul style="list-style-type: none"> ピクチャーカードを利用し、内容、友達関係を確認 言語についてもカードで視覚的にまとめる <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">Koji</td> <td></td> <td style="text-align: center;">Bin</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">Chinese</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">Japanese</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">?</td> <td style="text-align: center;">English</td> <td style="text-align: center;">?</td> </tr> </table>	Koji		Bin	×	Chinese	○	○	Japanese	×	?	English	?
	Koji		Bin												
×	Chinese	○													
○	Japanese	×													
?	English	?													
	3 本時の課題の確認	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 課題 1 教科書の本文を理解して音読できるようになろう。 2 doesn't を用いた否定文を理解する。 </div>													
	4 目標文の提示	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 否定文でも消えるS Koji does not speak Chinese. (板書) </div>													
	5 パターン練習	<ul style="list-style-type: none"> 基本文の意味を予測する。 does の仕事を考える。 パターンプラクティス① パターンプラクティス② 	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュカード ペア練習 												
	6 本文の内容理解	<ul style="list-style-type: none"> Listening 新出語句練習 内容確認② T-F、Q & A 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ◎三単現の否定文を正しく使っているか B：パターンに従って三単現のSを用いた文(否定文)を言ったり書いたりできる。 A：三単現のSの構造を理解し、正しい英文を言ったり書いたりできる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> フラッシュカードで語句の確認(しっかり読む) 												
	7 音読	<ul style="list-style-type: none"> repeating buzz reading (一語読み) overwrapping (CD との同時読みに挑戦) 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ◎内容を理解して音読に取り組んでいるか B：音読に真剣に取り組んでいる。 A：スピードを意識して音読しようとしている。 </div>												
終末 5	8 まとめ 9 課題確認 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ワークでまとめる ワークを使って復習してくる 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 基本文・重要事項の理解 ● 机間巡視による支援 												